

東南アジア超短期海外派遣プログラム（タイ・バンコク）募集要項

募集概要：

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加は、コースの単位が付与されます（注）。本プログラムは3Qに開講される「グローバル理工人概論4」（内容添付）とセットで実施されます。本プログラムに参加を希望する学生は必ず「グローバル理工人概論4」を履修して下さい。本プログラムと「グローバル理工人概論4」は、1. 現地訪問、2. 遠隔によるグループワーク、3. チュラロンコン大学学生の本学訪問の3つが組み合わせられています。具体的な内容は以下の通りです。

- ① タイの現地訪問では、前半のグループワークや専門家による講義等を含める。また、グループワークのテーマ（科学教育と技術）に関連した施設訪問を行う。
- ② 遠隔によるグループワークでは調査結果の共有や相違点について議論を行い、最終提案の準備を行う。
- ③ 2016年12月のチュラロンコン大学学生受入れの際に最終発表を行う。

異文化コミュニケーションとグループワークの課題テーマ（科学教育と技術）に関心のある本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 タイ・バンコク

【渡航期間】 2016年8月31日（水）～9月9日（金）（9泊10日）

【費用】 約13万円（タイ航空直行便利用）

（航空券代、燃料サーチャージ、空港税、現地宿泊費）

*現地での諸経費（食費、交通費、学生交流に係る費用等）は含まれません。

*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程2～4年生)。国籍・性別・学年・学科等は不問。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。

① グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。

② ポートフォリオに必要事項を記入している。

*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>

【応募方法】 添付の申請書をグローバル人材育成推進支援室宛てに提出して下さい。

【募集人数】 8名程度（最少催行人数6人に達しない場合、プログラムを中止する場合があります。）

【選考方法】 書類審査及び面接

【応募締切】 2016年6月6日(月)

*応募に際しては、申請書類に類主任または学科長の承認を必ず得て下さい。

【面接予定日】 2016年 6月8日(水)

【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。事前学習は、おもに水曜日の昼休み～午後の時間帯を予定しています。

2016年6月15日（水） 全体オリエンテーション(書類手続き等説明)

2016年6月22日（水） 書類提出会・事前学習1:参加者マニュアル説明等

2016年7月上旬 事前学習2:現地訪問先についてのブリーフィング等

2016年8月中旬 事前学習3: 訪問国出身者によるブリーフィング

2016年10月：個別報告会

2017年4月：合同報告会@留学フェア（代表者のみ）

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象です。以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合があります。（別途書類の提出が必要です。必要書類については、選考後の全体エンターションにて説明します。

*学内規定により国費留学生には奨学金の支給はありません。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO））
国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認。
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）＋（「評価ポイント2の単位数」×2）＋（「評価ポイント1の単位数」×1）＋（「評価ポイント0の単位数」×0）／ 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者
（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1B」の単位が付与されます（1単位）。（この場合、実践型海外派遣プログラムの単位とはなりません。）
2. 3年生および下記の条件を満たす4年生の参加については、「グローバル理工人研修1B」の単位が付与されます（1単位）。
 - 1) 当該海外派遣プログラムにより得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合があります。
4. 帰国後、本学において単位認定出来ない場合には、奨学金を返納することになるので、対象プログラムにしっかり参加すること。

【プログラム内容の問い合わせ先】

国際部国際連携課総務グループ

大岡山南6号館4階405号室

電話：03-5734-3412（担当：太田）

e-mail: ghrd.info@jim.titech.ac.jp

【申請書提出先】

グローバル人材育成推進支援室

大岡山南6号館4階402号室 Mail Box：S6-13

電話：03-5734-3520（担当：田家(たや)）

e-mail: ghrd.info@jim.titech.ac.jp

グローバル理工人育成コース国際意識醸成プログラム(グローバル理工人概論4)

タイのチュラロンコン大学とのグループワークについて

グローバル理工人育成コースでは、3Q 授業「グローバル理工人概論4」として、タイの名門チュラロンコン大学との共同授業を以下の通り実施いたします。

1. 科目名 : 「グローバル理工人概論4」

2. 講義タイトル:

Global Awareness for Technology Implementation in the Solving of Social Issues

3. 募集人数 : 8名

4. 単位 : 2単位

講義時期 : 平成28年9月～10月 水曜日 7,8時限 (15:05-16:35)

使用言語 : 英語

形態 :

本学およびチュラロンコン大学の学生により構成されるメンバー4～5名(各大学2～3名)で構成される3グループが共通テーマを選定し共同作業を行う問題解決型のグループワーク。

対象 : 両校共に学部2年生以上(本学はグローバル理工人育成コース所属生対象)

課題設定と進行 :

共通のテーマ(科学教育と技術)について、**遠隔教育、教材開発、学習管理システム等**をキーワードに、各グループのメンバーがそれぞれ母国の事情を調査する。グループワークの過程で自分たちが考えられる解決案、限界などについて述べ、相手国の学生たちはそれに対するコメント、助言などを行い、意見交換を行う。本取組により、共通のテーマについて両国の事情、異なる考え方や情報を取り入れ、提案を行う。

授業計画(一部「東南アジア超短期派遣プログラム(タイ)」として実施

1. オリエンテーション、グループ分け、テーマの選定
2. 両国よりテーマに関する事前講義
3. グループワーク(各週で進捗状況を報告、中間発表あり)
4. 最終発表(4Q 12月にチュラロンコン大学の本学を訪問時)
5. 4Qにチュラロンコン大学の学生を受け入れ施設訪問を行うので可能な限り参加すること。

グループワークの方法:

物理的に離れている学生たちによる共同作業となるため、ポリコム(講義、発表)やインターネット上のテレビ通話システム(グループワーク)を活用する。

東南アジア実践型超短期派遣プログラム（タイ）及びグローバル理工人概論4実施スケジュール

		行動予定	詳細	宿泊地	
	7月	TBD	オリエンテーション	グループワーク説明、メンバー紹介、トピック決定、講義	Remote
	8月	TBD	施設訪問	教育と技術に関連した施設訪問、学内の講義システムの確認	Remote
	8月	TBD	グループワーク	施設訪問等事前調査の結果の共有	Remote
	8/31	水	現地到着	バンコク到着	バンコク
Day 1	9/1	木	オリエンテーション (確認)	グループワーク説明、メンバー紹介、トピック決定、講義	バンコク
Day 2	9/2	金	講義・グループワーク		バンコク
Day 3	9/3	土	施設訪問、グループワーク等 (日曜日は自由行動)	施設訪問先(予定) 1. Teach for Thailand (多くの生徒への教育機会提供を目的とするプロジェクト) 3. マヒドール高校 (理数系学生のための高校) 4. True Plookpanya テレビ局 5. 遠隔教育のための王立プロジェクト 6. アユタヤ遺跡等	バンコク
Day 4	9/4	日		バンコク	
Day 5	9/5	月		バンコク	
Day 6	9/6	火		バンコク	
Day 7	9/7	水		バンコク	
Day 8	9/8	木	グループワーク	今後のスケジュール確認、夜便で帰国	機内泊
	9/28	水	グループワーク	日本、タイの基礎情報の共有	遠隔
	10/5	水	グループワーク	トピックの現状の共有	遠隔
	10/12	水	グループワーク	日本、タイの共通点、相違点等共有	遠隔
	10/19	水	グループワーク	日本、タイそれぞれの提案の共有	遠隔
	10/26	水	グループワーク	日本とタイの協力関係について議論	遠隔
	12/15	木	チュラ大受入れ	チュラ大メンバー日本到着	東京
	12/16	金	グループワーク	最終発表準備	東京
	12/17	土	施設訪問	教育と技術に関連した施設訪問：遠隔教育、教材開発、カリキュラム開発、EMS、サイエンスコミュニケーション等	東京
	12/18	日	施設訪問		東京
	12/19	月	施設訪問		東京
	12/20	火	最終発表		東京